

ゴム工業における
2018年(平成30年)の新ゴム消費量(3月確定)と
2019年(平成31年)の新ゴム消費予想量

1. 2018年(平成30年)のゴム工業での新ゴム消費量(3月確定)

(表-1) (単位:トン)

製品別	消費量	前年比		構成比	
			%		%
タイヤ類	1,073,720		103.2		80.6
自動車タ・チ	1,059,680		103.2		79.5
その他のタイヤ類	14,040		101.4		1.1
工業用品類	240,200		102.5		18.0
ゴムベルト	21,680		98.7		1.6
ゴムホース	38,840		104.9		2.9
その他の工業用品	179,680		102.5		13.5
その他製品類	18,980		100.8		1.4
ゴム履物類	1,230		100.8		0.1
その他のゴム製品	17,750		100.8		1.3
合計	1,332,900		103.1		100.0

(注)その他のタイヤ類には、更生タイヤ用練生地を含む。

2. 2019年(平成31年)のゴム工業の新ゴム消費予想量(表-1に基づく)
は表-2のとおりとなる。

(表-2) (単位:トン)

製品別	消費予想量	前年比		構成比	
			%		%
タイヤ類	1,067,860		99.5		80.3
自動車タ・チ	1,053,320		99.4		79.2
その他のタイヤ類	14,540		103.6		1.1
工業用品類	243,470		101.4		18.3
ゴムベルト	21,680		100.0		1.6
ゴムホース	38,920		100.2		2.9
その他の工業用品	182,870		101.8		13.7
その他製品類	19,070		100.5		1.4
ゴム履物類	1,230		100.0		0.1
その他のゴム製品	r 17,840		r 100.5		1.3
合計	r 1,330,400		99.8		100.0

(注)その他のタイヤ類には、更生タイヤ用練生地を含む。

以上

<参考> 1. 2018年（平成30年）の新ゴム需給総量

3月13日開催のゴム需給調査会（下注）の検討ならびに表-1の新ゴム消費量を反映した結果、参考表-1のとおり決定した。

（参考表-1）

（単位：トン）

		天然ゴム		合成ゴム		計	
			前年比		前年比		前年比
			%		%		%
供給	輸入	710,330	101.6	153,870	102.2	864,200	101.7
	生産(国産)	—	—	1,569,500	96.8	1,569,500	96.8
	計(A)	710,330	101.6	1,723,370	97.3	2,433,700	98.5
需要	国内消費	706,500	104.0	887,800	100.8	1,594,300	102.2
	輸出	380	181.0	796,570	92.3	796,950	92.3
	計(B)	706,880	104.1	1,684,370	96.6	2,391,250	98.7
A - B		3,450	—	39,000	—	42,450	—

（注1）ゴム需給調査会…経済産業省素材産業課、日本ゴムトレーディング協会、合成ゴム工業会、日本自動車タイヤ協会および当会の事務担当者が構成し、4半期ごとにわが国の新ゴム（天然ゴムおよび合成ゴム）の需給数量の総合検討にあたっている。

<参考> 2. 2018年（平成30年）のゴム工業とゴム工業以外での新ゴム消費量

（参考表-2）

（単位：トン）

	天然ゴム		合成ゴム		計		構成比	合成ゴム 使用比率
		前年比		前年比		前年比		
		%		%		%	%	%
ゴム工業	692,500	104.1	640,400	101.9	1,332,900	103.1	83.6	48.0
ゴム工業以外	14,000	100.0	247,400	97.9	261,400	98.0	16.4	94.6
計	706,500	104.0	887,800	100.8	1,594,300	102.2	100.0	55.7

（注1）「ゴム工業以外」とあるのは、紙加工、合成樹脂製造ブレンド、接着剤および繊維処理等に消費される分とする。